

景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準（考え方）	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	<p>●背景との関係が読み取れる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>位置・規模を評価</p> <p>（目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20 倍 例) 高さ 50mの場合 距離 1,000m程度</p>	<p>●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げているか。 	①位置	○	遠景からも海を介してかすかに見える位置があるが、白を基調とし、周囲景観と違和感はない。
			②規模	○	周辺建物と比較しても過度に規模の大きなものではなく、違和感はない。
			③スカイライン	○	スカイラインを妨げるような形状ではない。
中景	<p>●建物の周辺の状況がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>主要部位を評価</p> <p>（目安 100～500m程度）</p>	<p>●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。 	①基調色	○	壁面は白を基調とし、過度な装飾は避ける意匠であり、周囲景観と違和感がない。
			②おおまかな形状	○	長方形であり、凹凸も少なく、道路に平行に計画しているので違和感はない。
			③主要な付属物 （屋上設備 屋上階段 ベランダ等）	○	屋上は周囲から見えないよう、壁を立ち上げる計画としている。
			④特殊な材料 （金属やミラーなど）	○	特殊な材料は使用しない。
近景	<p>●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ディテールを評価</p> <p>（目安 50m程度）</p>	<p>●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。 	①壁面意匠 （ファサード意匠 側面の仕上げ 壁面設備）	○	壁面は白を基調とし、過度な装飾は避ける意匠であり、周囲景観と違和感がない。
			②看板類	○	華美にならないよう配慮し、周囲景観と違和感がない。
			③アクセントカラー	○	華美にならないよう配慮し、周囲景観と違和感がない。
			④低層部の雰囲気	○	壁面は白を基調とし、過度な装飾は避ける意匠であり、周囲景観と違和感がない。
			⑤敷地利用 （緑化など）	○	可能な範囲で緑化に努め、周辺環境に潤いをもたらしている。
地点	<p>●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>道路際の造作を評価</p> <p>（目安 10m前後）</p>	<p>●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路敷が雑然としていないか。 ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。 	①低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	道路側にも緑地帯を設け、周辺環境に潤いをもたらしている。
			②敷地のデザイン （敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど）	○	道路に面して塀を設けることで、駐車場を視認しにくく、雑多になることが想定される1階部分を視認しにくくなるように計画した。